

菰野珠算学園だより

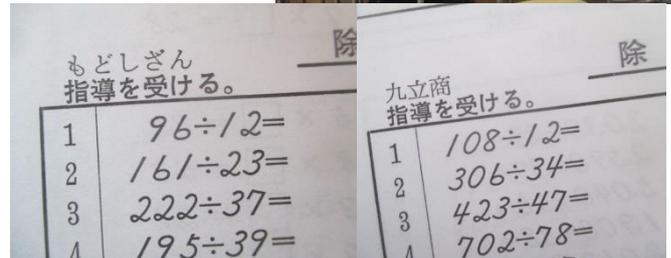
3月号

2026年3月発行



わり算を克服しましょう。

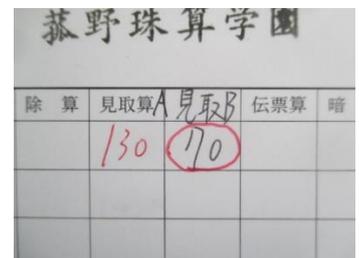
子どもたちの練習の様子を見ていると、わり算に苦労している子を見かけます。かけ算九九が身に付いていないことが主な理由ですが、わり算には「もどし算」「九立商」という、かけ算や見取算にはない技法があり、その習得に時間を費やしていることも要因のようです。「161÷



23」だと、まず商に8を立てるのですが、そうするとうまくいかず、もどし算という技法を使うこととなります。また、「423÷47」のようにわる数とわられる数の2桁を見て、わられる数がわる数よりも小さい場合には、商に9を立てるといった技法があるのですが、4÷4で商に1を立ててしまい、つまづいてしまっている子がいます。何度も繰り返しやることで感覚が身に付き、できるようになると思いますので、当学園でも根気強く、粘り強く指導していきます。

1～5の練習帳に関する認定試験を始めました。

保護者の皆様から「子どもの進度が知りたい」というご意見を受け、当学園では、1月より、練習帳が終了した時点で、その内容に見合った認定試験を実施しています。本来ならば各科目100点以上（15問中10問OK）が合格となるのですが、間違えた問題を指導者に聞くことなく自分の力で解きなおすことができた場合には、写真にあるように点数を赤丸で囲んで合格扱



扱いとして次の練習帳をお渡ししています。不合格となり、十分な理解ができていないと判断した場合には、習熟のための別の練習帳や練習プリントを渡して珠算練習を行っています。お知りおきください。

送迎の車に注意を払ってください。民家に入らないようにお願いします。

珠算練習を終えた子どもたちは、保護者の皆様にお迎えに来ていただくまで、天気がいいと、外遊びをして、なかまと楽しそうに過ごしています。特に1～4年生ぐらいの異学年が一緒になって遊んでいる光景は、上級生が下級生を思いやり、微笑ましく感じることもあります。しかし、時には遊ぶことに夢中になって、遊び道具が車にあたり、民家に入ってしまったたり、お迎えの車が来ていることに気付かないといったこともあります。その都度注意喚起をしていますが、交通事故やトラブルを未然に防ぐために、ご家庭でもご指導をいただければ幸いです。ご協力をよろしく申し上げます。

6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

6年生の卒業まで珠算教室に通い続けてくれた皆さん、ご卒業おめでとうございます。小学校生活を終えるのを機に、珠算活動から離れられる子もたくさんいることと思います。「計算力」だけでなく「集中力」や「忍耐力」は身に付きましたでしょうか。「意欲」を持ってがんばることの大切さも、珠算活動を通して気づいていただければ幸いです。3月の検定試験の結果を受け「もうちょっとだけがんばってみたい」という子の中にはいるかもしれません。特に段位を練習している子は、直前2回の結果が反映されるので、意欲が持続できるようであれば、5月31日（日）が次回の検定試験となりますので、最後にチャレンジしていただければと思います。ご一考ください。ご家庭で練習される場合には、月謝はいただきません。

中学校に入学し、教科担任制や部活動など最初は慣れないことが多く、日常生活スタイルの変更に戸惑うことも出てくると思います。珠算教室は、平日毎日18時まで開けていますので、ちょっと心が減入ってきて話したいことや聞いてほしいことが出てきましたら、気軽に立ち寄ることのできる居場所にもなればと考えています。遠慮なく立ち寄ってください。これからの皆さんのさらなる活躍に期待しています。